

平成27年度事務事業評価シート

平成27年6月24日作成

事業番号	13	担当部課	総務部庶務課								
事務事業名	職員健康管理事業										
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	01	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成27年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P146 ゆがわら2011プラン 前期基本計画	5 みんなでつくる自立と協働のまちづくり	III 将来を見据えた行政経営の推進	1 行政経営	(2) 人材育成の推進	① 人材育成の推進
関連する個別計画					
目的	職員の健康診断の実施や人間ドックの助成制度を通じて、職場における労働者の安全と健康を確保し、快適な職場環境の形成を促進する。				
対象	職員				
内容	病気を未然に防ぐことや早期発見のために定期健康診断を実施しており、35歳以上の職員には人間ドック・脳ドックの助成を行い、病気の予防にはインフルエンザの予防接種の助成も行っている。 また、労働安全衛生法に基づく産業医を設置し、職員の健康管理に関すること等の職務の委託をしている。				

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(見込)	
コスト	事業費	3,899,417	3,752,310	4,454,000	
	人件費	1,556,400	1,610,000	1,523,800	
	非常勤職員等				
	人件費合計	1,556,400	1,610,000	1,523,800	
	総事業費	5,455,817	5,362,310	5,977,800	
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	5,455,817	5,362,310	5,977,800	
財源合計	5,455,817	5,362,310	5,977,800		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成25年度	平成26年度	目標値
予防接種者数	病気の予防につながる	人(延)	358	346	
健康診断受診者数	病気の早期発見につながる	人(延)	518	505	
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成25年度	平成26年度	目標値
予防接種者数	病気の予防につながる	人(延)	358	346	
健康診断受診者数	病気の早期発見につながる	人(延)	518	505	

3 平成26年度までの事業分析及び改善点

評価 3段階とその理由を記入(A:高い B:普通 C:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	A 職員の安全と健康を確保するため、町で実施する必要がある。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	A 職員の健康管理に資している。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	A 病気等の早期発見、将来の健康維持に係る問題点の早期認識が図られ、職員の健康維持につながっている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	A 対象となる職員に対して制度の周知が図られており、機会は均等である。

平成26年度までの改善点	特になし
--------------	------

4 見直し及び改善

平成27年度の見直し及び改善 (実績または予定)	特になし
平成28年度以降の方向性	同内容で継続予定

5 一次評価(平成28年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	職場における労働者の安全と健康を確保する必要があるため、事業の継続は必要である。
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・心身ともに健康であることが重要なことから、心的健康を維持させることを検討する必要がある。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	・身体の健康だけでなく、メンタルヘルスの部分も検討。
------	----------	----------------------------

平成27年度事務事業評価シート

平成27年6月24日作成

事業番号	1189	担当部課	総務部庶務課							
事務事業名	人事評価制度導入事業									
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	01	事業開始年度	平成 27 年度

1 事業概要(平成27年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P146 ゆがわら2011プラン 前期基本計画	5 みんなでつくる自立と協働のまちづくり	III 将来を見据えた行政経営の推進	1 行政経営	(1) 行政改革の推進	② 適切な人事管理の推進
関連する個別計画					
目的	職員がその職務を遂行するに当たり発揮した能力及び上げた業績を把握した上で行われる人事評価制度を導入し、これを任用、給与、分限その他の人事管理の基礎とすることで、個々の職員を困難な課題を解決する能力と高い業績を上げることができるよう人材へと育て、また、面談における上司とのコミュニケーションの中で、職員の士気高揚を図る。				
対象	職員				
内容	平成27年度からシステムを導入するとともに、要綱整備、評価者研修など制度を確立し、平成28年度から本導入する。				

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成25年度(決算)		平成26年度(決算)		平成27年度(見込)	
	事業費	0	0	0	6,163,000	
人件費	常勤職員				2,285,700	
	非常勤職員等					
	人件費合計	0	0	0	2,285,700	
総事業費	0	0	0	8,448,700		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源				280,000	
	一般財源	0	0	0	8,168,700	
財源合計	0	0	0	8,448,700		
活動指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成25年度	平成26年度	目標値
評価対象職員数	常勤一般職		人			320人
成果指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成25年度	平成26年度	目標値
評価実施職員数	常勤一般職		人			320人

3 平成26年度までの事業分析及び改善点

評価 3段階とその理由を記入(A:高い B:普通 C:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか		平成27年度からの事業
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか		平成27年度からの事業
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか		平成27年度からの事業
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か		平成27年度からの事業

平成26年度までの改善点	平成27年度からの事業
--------------	-------------

4 見直し及び改善

平成27年度の見直し及び改善 (実績または予定)	特になし
平成28年度以降の方向性	平成27年度での試行を踏まえ、制度の改善を図る。

5 一次評価(平成28年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	地方公務員法においても人事評価の導入が義務付けられており、導入を図るとともに継続する必要がある。
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	・現状維持とするが、評価者研修の実施を検討。
------	----------	------------------------

平成27年度事務事業評価シート

平成27年6月24日作成

事業番号	678	担当部課	総務部庶務課							
事務事業名	庁舎維持管理修繕事業									
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	01	事業開始年度	平成 24 年度

1 事業概要(平成27年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P149 ゆがわら2011プラン 前期基本計画	5 みんなでつくる自立と協働のまちづくり	III 将来を見据えた行政経営の推進	2 財政運営	(2) 効果的な財政運営	① 事務事業の効率化
関連する個別計画					
目的	経年劣化の進む役場庁舎を、効率良く維持管理していく。				
対象	役場庁舎				
内容	H24～26 庁舎照明設備のLED化(以後リース) H25 第2庁舎エアコン設置工事・本庁舎防犯カメラ設置工事・第2庁舎内装工事 H26 第2庁舎エレベーター改修・本庁舎ボイラー改修・教育センター改修(カーテン・エアコン設置)				

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成25年度(決算)		平成26年度(決算)		平成27年度(見込)	
	事業費	2,732,835	18,727,484	1,624,000		
人件費	常勤職員	1,945,500	2,012,500	761,900		
	非常勤職員等					
	人件費合計	1,945,500	2,012,500	761,900		
総事業費	4,678,335	20,739,984	2,385,900			
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	4,678,335	20,739,984	2,385,900		
財源合計	4,678,335	20,739,984	2,385,900			
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成25年度	平成26年度	目標値	
LED照明導入数	LED化による節電効果	本	613	982	982	
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成25年度	平成26年度	目標値	
使用電力量	LED化による節電効果	kWh	19,125	30,638	30,638	

3 平成26年度までの事業分析及び改善点

評 価 3段階とその理由を記入(A:高い B:普通 C:低い)		
必 要 性	町が実施する必要があるのか	A 地球温暖化防止対策の一環として、行政が率先して省エネルギーの推進を図ると共に、耐久性と使用電力量の節減により、庁舎維持管理経費の削減が図られる。
効 率 性	投入した費用に見合った効果が得られているか	A 着実に電気料金の節減が図れている。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	A 使用電力量は、着実に節減されている。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	A 役場庁舎を利用されるすべての方に、あかりの環境を提供できる。

平成26年度までの改善点	平成24～26年度の3か年度で、庁舎照明設備のLED化を完了。
--------------	---------------------------------

4 見直し及び改善

平成27年度の見直し及び改善 (実績または予定)	庁舎照明設備のLEDを継続するとともに、役場庁舎の経年劣化が進んでいるため、必要に応じた改修を実施し、効率良く維持管理していく。
平成28年度以降の方向性	同上

5 一次評価(平成28年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	来庁者や職員に適した環境の場を整備するため、事業の継続は必要である。
------	----------	------------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

<ul style="list-style-type: none"> ・庁舎の耐震化などの計画を進める必要がある。 ・建替えを含めた計画的な、庁舎のあり方を検討するよう求める。
--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--